

アレスシックイ用防汚処理材

アレスシックイEZクリーン

系 統 特殊水性防汚処理材

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) アレスシックイの上に塗装することで、手垢等の汚れの付着を軽減するとともに、汚染除去性を向上させます。
- 2) アレスシックイの上に塗装することで、撥水性を付与します。
- 3) VOCをほとんど含みません。
- 4) ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼンは、配合していません。

塗装条件

| | | | | | |
|---------------------------------|------|------|--|--|--|
| 塗装方法 | はけ | ローラー | | | |
| 希 積 率 | — | — | | | |
| 標準所要量 (kg/m ² /回) | 0.10 | 0.10 | | | |
| 希 積 剤 | — | | | | |

標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

| | | | | |
|---------|-----|--------|-----|--|
| 項 目 | | 温 度 | 23℃ | |
| | | 標準塗装間隔 | | |
| | 最 短 | 4時間 | | |
| | 最 長 | 7日 | | |
| 使 用 時 限 | | — | | |

塗料性状

| 項 目 | 内 容 |
|-----------------------------|----------|
| 1 荷 姿 | 4kg |
| 2 混 合 比 | — |
| 3 色 | 透 明 |
| 4 つ や | つや消し |
| 5 仕 上 が り 感 | 平 滑 |
| 6 塗 料 比 重 | 1.03 |
| 7 溶 剤 比 重 | 1.00(上水) |
| 8 加 熱 残 分 | 14% |
| 9 劇 物 表 示 (品名・含有量) | — |
| 10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物 | — |
| 11 有 機 則 / 特 化 則 | — |
| 12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分 | 非 危 険 物 |
| 13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分 | — |

主な適用素材

コンクリート、石膏ボード、スレート、モルタル、塩ビクロス

主な適用下塗塗料

主な適用中塗塗料

漆喰塗料 アレスシックイ、アレスアートシックイ圧膜型

主な適用上塗塗料

使用上の注意事項

- 1) 使用前によく攪拌し、中味が均一になっている事を確認してから使用してください。
- 2) モルタル、コンクリートは、含水率8%以下、PH10以下になるまで充分乾燥させて下さい。
- 3) 施工する前に、被塗面に付着したエフロ・レイトランス・汚れ・油分などを十分に除去し乾燥させて下さい。
- 4) 気温5℃以下、湿度85%以上の条件で塗装は避けて下さい。
- 5) 本品を塗装すると底つやが消え、塗装前の仕上がり感と若干変わるため、部分塗装は避け、面単位で塗装してください。
- 6) アレスシックイの上に塗装した場合、結露防止性が低下しますので注意してください。
- 7) 本品を塗装した面にアレスシックイを塗装すると付着性が悪いいため、補修塗装などで塗り重ねる必要がある場合には必ず被塗面をサンドペーパーで研磨して下さい。
- 8) 換気のよい場所で取り扱い、容器はその都度密栓してください。
- 9) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。